

学校推薦型選抜（公募制）

詳細は必ず『入学試験要項』でご確認ください。

出願資格

次の各項全てに該当する者。

- 高等学校もしくは中等教育学校を2024年3月に卒業した者および2025年3月に卒業見込みの者。
- 本学の教育課程を修めるに十分であると学校長が認め推薦した者。

入試日程

学部・学科	試験日・試験時間	出願期間	合格発表	
全学部・全学科	11月20日(水)	WEB出願 11月1日(金)～11月6日(水)	12月2日(月)	
				午前
	11月21日(木)			午後
				午前
	11月22日(金)			午後
				午前

- Point**
- 試験日・時間は自由選択制です。
 - 最大6回の受験チャンスがあります。
 - 異なる学科を受験することも、同じ学科を複数回受験することも可能です。
 - 1回の受験で2学科まで併願が可能です。

試験会場

試験日・試験時間	京都(本学)	金沢	名古屋	彦根	福知山	大阪	神戸	和歌山	岡山	高松	福岡
11月20日(水)	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11月21日(木)	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11月22日(金)	午前	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—
	午後	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—

※11月22日は京都(本学)、彦根、大阪のみです。

- Point**
- 全国11都市に設置します。都合に合わせて試験日・試験時間・会場を選択することができます。

試験科目・配点・解答時間

学部	学科	試験科目/配点	解答時間
仏教学部	仏教学科	<p>基礎能力試験</p> <p>「英語」100点 + 「選択」100点 = 200点満点</p> <p>「選択」は「国語」「数学」から1科目</p>	80分
文学部	日本文学科		
	中国学科		
	英米学科		
歴史学部	歴史学科 歴史文化学科		
教育学部	教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科		
社会学部	現代社会学科 公共政策学科		
社会福祉学部	社会福祉学科		
保健医療技術学部	理学療法学科 作業療法学科 看護学科		

- Point**
- 全学部・全学科とも全問マークセンス方式。基礎能力試験(2科目)。「英語」と「選択(「国語」「数学」から1科目)」の2科目を80分間で解答します。
 - 「選択」は試験当日に「国語」と「数学」それぞれの問題を確認してから、受験科目を決めることもできます。
 - 学部・学科が異なる場合でも、試験時間ごとの試験問題は同一内容です。
 - 解答時間内に2科目を同時に行います。解答しやすい科目や問題から取りかかるなど、時間配分を考えて受験してください。

出題範囲 ◆「英語」は[英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、論理・表現I(リスニングは実施しません)]
◆「国語」は[現代の国語、言語文化(古文、漢文を除く)] ◆「数学」は[数学I、数学A(「数学と人間の活動」を除く)]

合格者判定方法

- 全員が「基礎評価方式」で受験。希望者は「総合評価方式」も追加できます。※「総合評価方式」のみでの受験はできません。
- 「総合評価方式」は、各学科とも「基礎評価方式」の得点率を考慮し合格者数を配分します。
- ※試験日・試験時間(午前・午後)ごとの定員は設けていません。
- ※「基礎評価方式」、「総合評価方式」ともに1回に受験する2科目の合計得点(「総合評価方式」はプラス評定点)で判定します。
- 試験日・試験時間(午前・午後)をまたいだ高得点科目での判定ではありません。

「基礎評価方式」は2科目200点満点で判定します

[2科目の合計得点で判定]

- 「英語」「選択」2科目の合計200点満点で判定します。



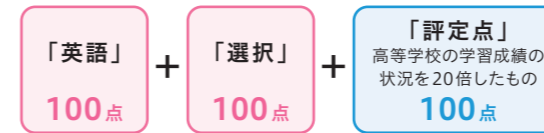
〈例〉

試験日・時間	「英語」	「選択」	合計
11月20日(水)午前	70点	「国語」70点	140点

「総合評価方式」の判定方法がプラスできます

[高等学校の成績を活かせる判定]

- 「基礎評価方式」にプラスして利用できる判定方法です。
- 2科目合計200点+評定点100点の計300点満点で判定します。



〈例〉

全体の評定平均値	「英語」	「選択」	評定点	合計
3.0の場合	70点	「国語」70点	60点	200点
4.0の場合			80点	220点
5.0の場合			100点	240点

- Point**
- 高等学校での成績を活かせる「総合評価方式」を追加すればさらに合格のチャンスが高まります。
 - 1回の受験につき「基礎評価方式」、「総合評価方式」、それぞれで判定を受けることができます。

併願について

- 複数学科の併願、他大学との併願も自由です。
- 試験日・試験時間(午前・午後)をかえて同一学科、異なる学科の併願もできます。
- New** ○1回(午前または午後)の試験で最大2学科まで併願することができます。また、試験時間(午前・午後)をかえて、同一学科、異なる学科の併願もできます。

- Point**
- 2つの判定方法に学科併願を併用すれば最大24回の判定を受けることができます。

))) よくある併願パターン例はP.10を参考にしてください。(((

GHEGKI!

複数回受験のメリット

「学校推薦型選抜(公募制)」では、同じ学科を複数回受験することも、異なる複数の学科を併願することも可能です。複数の受験チャンスを得られることで、1回だけの受験に比べて気持ちの余裕が生まれ、試験の緊張感に慣れることで、**受験生が本来の実力を発揮しやすく**受験環境が整うというメリットがあります。

入学試験検定料

検定料減額

- 1回目(午前または午後)の受験は35,000円。
- 2回目からは10,000円を加算します。
- 1回の受験で2学科を併願する場合は、1回につき5,000円を加算します。
- 「総合評価方式」を追加する場合は1回につき5,000円を加算します(学科併願を問わず)。

第2回合格発表について

- 入学手続締切後、手続きの状況により追加で合格発表をする場合があります。
- 詳細は必ず『入学試験要項』でご確認ください。

学科併願のメリット

年内入試で合格を勝ち取ることは受験シーズンを乗り切る上で重要です。**推薦型入試のメリットである「総合評価方式」でも学科併願ができる点も魅力です。****New** また、学科ごとに競争率や合格最低点が異なることから、難易度の異なる他学科への併願をうまく組み合わせることで合格の可能性をさらに高めることができます。